

## 2005 年農林業センサス結果概要(利用者のために)

### 1 2005 年農林業センサスの概要

#### (1) 調査の目的

本統計は農林業に関する基礎データを作成し、農林行政に係る諸施策及び農林業に関する諸統計調査に必要な基礎資料を整備するとともに、地域の農林業の実態を明らかにすることを目的としている。

#### (2) 調査の対象

農林業経営体調査は、「3用語の解説」のうち「農林業経営体」に該当する全ての経営体を対象とした。

#### (3) 調査期日

平成 17 年 2 月 1 日現在で実施した。

#### (4) 調査方法

農林業経営体調査は、農林水産省-県-市町村-指導員-調査員の実施系統で行う調査員調査で、農林業経営体による自計申告調査とした。

### 2 数値について

(1) この結果速報の数値は、確定値ではなく概数値である。

(2) 数値はラウンドしてあるため、総数とその内訳を合計したものとが一致しない場合がある。

(3) 計算値は小数点以下 2 位を四捨五入した。そのため、合計が百パーセントにならない場合もある。

また、ラウンド前の原数値により算出しているため、表上の数値で算出したものと若干の差が生じる場合もある。

(4) 表中に使用した符号は、次のとおりである。

「-」は、事実のないものを示す。

「…」は、調査を欠くものを示す。

「△」は、減少を示す。

「0」は、単位未満を含む。

「x」は、調査客体の秘密保護のため統計数値を公表しないものである。

### 3 用語の解説

農林業経営体

農林産物の生産を行うか又は委託を受けて農林作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、次の規定のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

ア 経営耕地面積が30アール以上の規模の農業

イ 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数その他の事業の規模が次の農林業経営体の外形基準以上の規模の農業

①露地野菜作付面積15アール

②施設野菜栽培面積350平方メートル

③果樹栽培面積10アール

④露地花き栽培面積10アール

⑤施設花き栽培面積250平方メートル

⑥搾乳牛飼養頭数1頭

⑦肥育牛飼養頭数1頭

⑧豚飼養頭数15頭

⑨採卵鶏飼養羽数150羽

⑩ブロイラー年間出荷羽数1,000羽

⑪その他調査期日前1年間における農業生産物の総販売額50万円に相当する事業の規模

ウ 権原に基づいて育林（立木竹のみを譲り受けてする伐採を除く。）を行うことができる山林（以下「保有山林」という。）の面積が3ヘクタール以上の規模の林業（育林又は伐採を適切に実施するものに限る。）

エ 農作業の受託の事業

オ 委託を受けて行う育林若しくは素材生産又は立木を購入して行う素材生産の事業

農業経営体

上記「農林業経営体」の規定のうち、ア、イ、エのいずれかに該当する事業。

林業経営体

上記「農林業経営体」の規定のうち、ウ、オのいずれかに該当する事業。

農家

平成17年2月1日現在の経営耕地面積が10アール以上の農業を営む世帯又は経営耕地面積が10アール未満であっても調査期日前1年間（平成16年2月1日から平成17年1月31日）の農産物販売金額が15万円以上あった世帯（例外規定農家）をいう。

|          |  |
|----------|--|
| 販売農家     | 経営耕地面積が30アール以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。  |
| 自給的農家    | 経営耕地面積が30アール未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家をいう。  |
| 土地持ち非農家  | 農家（経営耕地面積10アール以上又は過去1年間の農産物の販売金額が15万円以上あった世帯）以外で耕地及び耕作放棄地を5アール以上所有している世帯。            |
| 主副業別分類   | 農業所得と農業労働力の状況を組み合わせて農業生産の担い手農家をより鮮明に析出する農家分類として、1995年センサスから採用した。                     |
| 主業農家     | 農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家をいう。                                  |
| 準主業農家    | 農外所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家をいう。   |
| 副業的農家    | 65歳未満の農業従事60日以上の方がいない農家をいう。  |
| 専業農家     | 世帯員の中に兼業従事者（調査期日前1年間に30日以上雇用兼業に従事した者又は調査期日前1年間に販売金額が15万円以上ある自営兼業に従事した者）が1人もいない農家をいう。 |
| 兼業農家     | 世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる農家をいう。   |
| 第1種兼業農家  | 農業所得を主とする兼業農家をいう。  |
| 第2種兼業農家  | 農業所得を従とする兼業農家をいう。  |
| 農家人口     | 原則として住居と生計を共にしている農家の世帯員数をいう。   |
| 農業従事者    | 15歳以上の世帯員のうち、調査期日前1年間に自営農業に従事した者をいう。   |
| 農業就業人口   | 調査期日前1年間に「農業のみに従事した世帯員」及び「農業と兼業の双方に従事したが、農業の従事日数の方が多い世帯員」をいう。                        |
| 基幹的農業従事者 | 農業に主として従事した世帯員（農業就業人口）のうち、調査期日前1年間のふだんの主な状態が「仕事に従事していた者」をいう。                         |

|       |   |
|-------|---|
| 経営耕地  | 農家が経営する耕地（田、畑及び樹園地の計）をいう。経営耕地は自己所有地と借入耕地に区分される。                 |
| 借入耕地  | 他人から耕地を目的に借り入れている耕地をいう。   |
| 貸付耕地  | 他人に貸し付けている自己所有耕地をいう。  |
| 耕作放棄地 | 以前耕地であったもので、過去1年間以上作物を栽培せず、しかも、この数年の間にふたたび耕作するはっきりした意志のない土地をいう。 |